

**なおこ's VOICE** 最高寄付額は 99 億円。ここ何年も関東地方ふるさと納税寄付額 1 位の茨城県境町に視察に行きました。十数年前の財政状況は非常に厳しく財政破綻になりかねないなか、当時就任した町長は緊縮策ではなく「稼ぐに重きをおいた」政策を展開し今では財政調整基金は約 50 億で借金は減というV字回復を達成。きっと、飯能市もできるはず！はんのうプライドで頑張ろう！！

## 令和8年度一般会計予算が可決されました

**令和8年度  
当初予算案**

賛成 賛決 反対

**賛成多数で可決**

### 緊急財政対策への 対応と課題

市の  
一連の対応

公共施設  
丁寧に  
時間をかけて

独断的な提示は問題

**市民の声と復活事業**

考え直すべき 予算案を元通りに

説明会

事業再開の  
基準が曖昧

当初予算に  
盛り込むのは  
賢明でない

### 付帯決議と早期の補正

全会派

補正予算を  
組む方向性

### 盛り込まれた主要事業

児童福祉  
施設整備

介護・障害福祉  
重層的支援体制

遅れなく進める

**国の税収と地方の現状**

国：過去最高税収

民生費増

物価・  
人件費高騰

増

少子  
高齢化

余裕がない

**飯能市の未来の為に**

形骸化事業

効率的  
取り組み

今を生きる  
子供たちの為に

効率的・効果的  
取り組み

時代にマッチ

私は令和8年度当初予算案に賛成しました。今回の緊急財政対策における市の独断的な進め方は不適切であり、公共施設のあり方は本来時間をかけ丁寧に決めるべきものです。市民説明会では予算案の見直しを求める声が多く、一部事業が復活しましたが、その

基準には曖昧さが残ります。しかし、暫定予算を組んで場当たり的に対応するより、全会派で決めた付帯決議に基づき、早期に

補正予算で対応する方が賢明と判断しました。予算には以前から要望していた児童・介護・障害福祉等の支援体制整備も盛り込まれており、着実な遂行が不可欠です。物価高騰等で地方財政が窮する今、子供たちの未来のために形骸化した事業を見直し、時代に即した効率的・効果的な取り組みへ転換する好機とすべきです。



**令和8年度一般会計予算** 326億7千万円 (令和7年度 318億5千万円)

主な特別会計予算	令和8年度	令和7年度
国民健康保険	8,554,312千円	8,617,275千円
介護保険	7,494,689千円	7,284,463千円
土地区画整理 (4か所計)	1,242,747千円	1,471,513千円

## 関田なおこの一般質問

## 市長の政治姿勢について



事務事業見直し検討シート（確定版）には「休・廃止」から「継続・縮小」へ「継続・縮小から休・廃止」へと当初の内容から変更された事業が複数ある。これらの判断基準は？



統一的な基準はないが、一つ一つのご意見や要望書を受け、緊急財政対策本部会議で改めて協議を行い見直し内容を変更したもの、市長の思いや政治姿勢により内容を変更したものがある。



「市民との対話によるまちづくり」と常におっしゃられている。今後、この市民との対話は重要であり、ふれあいミーティングの他にも担当者と現場レベルの話し合いを含め、未来に向け建設的な対話の場が必要だと思うが。



来年度（令和 8）の「市長と語る！ふれあいミーティング」は、これまでの地域ごとの開催から、子育て世代の方、福祉関係の方、商店街の方など各分野の皆様と今後の飯能市について意見交換する対話の場としての開催を予定している。この度の緊急財政対策を踏まえ、事業関係者や団体等の皆様との対話を重ね、本市のアイデンティティ・独自性を踏まえつつ、一方向の決定事項の連絡ではなく双方向の意見交換により、今後の在り方や方向性などを協議・検討していく。副市長以下、担当職員含め、真摯に市民の意見に耳を傾け、情報を共有し、未来志向の意見交換を様々な分野で、または総合的な視点から分野の垣根を超えて実施していく。



対話の場を持ってから、令和 8 年度予算を考えて欲しいという声も少なくない。説明会での意見を取り入れ見直す考えはあるか。



令和 8 年度当初予算案を見直す考えはないが、これまでいただいた意見を

整理し、まちづくりや福祉、教育などの分野ごとに、事業の関係者や団体の皆様との対話を重ね、一方向の決定事項の連絡、公表ではなく、双方向の意見交換を踏まえ、協議・検討を行っていく。速やかに然るべき対応をし、休止・縮小とした事業の段階的な復活等を含め補正予算の編成について進めていく。しっかりと「対話重視のまちづくり」を進めていくので、ご理解賜りたい。

## 原市場・南高麗福祉センターについて



地域福祉活動の拠点がなくなる事の代償は大きい。地域福祉ボランティアは飯能市にとってどのような存在であるのか。



地域のニーズに合わせた活動をし、安心して住み続けられる地域づくりに貢献頂いている。その歩みを止めることのないよう配慮しつつ、地域と課題を共有し、協議をしながら今後の福祉センターの在り方を検討する。

## 児童・生徒の表現の場について



自己表現は自己肯定感を高める為にも大切であると考えている。今回の見直しで「中学校音楽フェスティバル」「少年の主張大会」「奥むさし中学校駅伝」などが見送りとなった。自己表現の場についてどの様に捉えているかを伺う。



児童生徒の主体的な活動や体験、経験は、自らの興味や才能を見出し、自己実現や将来のキャリア形成に寄与し、何かを成し遂げた達成感により自己肯定感や次への挑戦意欲を高めることに繋がっていると認識している。また、他校の児童生徒や地域の方々と活動することで、コミュニケーション能力が向上するとともに協調性が育まれるなどが期待される。「自己表現の場」を設けることは児童生徒を更なる成長に導くことに繋がり、教育的な意義は大きいものと捉える。



児童生徒の表現の場は、大人のサポートが無いと難しい。一部は部活動であるので学校の協力が不可欠。見直すべきところは見直し、連携して自己表現の場を創意工夫しながらできることを見い出すべき。



学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ、相互に連携・協働しながら、創意工夫を重ね、着実に実行できるよう努める。未来を拓くこどもたちの豊かな心と健やかな成長に向け、教育環境の充実に取り組んでいく。

### 地区行政センターの使用料について



各地区行政センターで開催している「今後の施設利用に関する説明会」ではどのような説明がなされているのか。また12月議会において、「地区行政センター使用料に係る免除規定を改正する条例案」が否決されたが、今後どのように進めていくのか。



利用団体の皆様へ施設の利用方法や予約方法などについて、説明及び行政サービスにおける業務時間の変更、使用料免除規定変更等の検討と意見交換。施設使用料等の見直しに関するアンケートにもご協力いただいているところ。今後は、これらのご意見を精査し使用料に係る条例改正の内容や進め方などを決定していく。丁寧な説明を心がけご理解を頂けるよう進めていく。



高校生以下及び高齢者等に優遇措置を設定するなど、年齢に配慮する考えは？



近隣市の状況などを参考にしながら検討を進めたい。

### 関係人口・交流人口の創出について



高萩市、横浜市中区、豊島区、墨区等、飯能市と交流がある区・市は大きな

マーケット。関係人口、交流人口を効果的に増やすために関係者だけではなく、市民がより行き来できるような強固な関係性を再構築していくべき。また、「ふるさと住民登録制度」の活用、さらには市独自の取組を構築して関係人口の増加をはかってはどうか。



関係人口を可視化し、地域の担い手確保や活性化につなげる「ふるさと住民登録制度」を有効に活用していく。また、令和7年飯能プランニングコンテストで最優秀賞を受賞した「目指せ！飯能観光大使 10,000人計画」の提案のように、本市のファンやサポーターとなる観光大使の委嘱も視野に入れ、様々な場面で市のPRをしていただく仕組みをつくるなど、本市独自の関係人口増加策を検討・構築していきたい。

## 関田が共有したいお知らせ！

加治東くりの子クラブの増設が決定  
(令和8年度放課後児童施設管理事業の設計委託料)



2年後をお楽しみに！

共働き世帯の学童（放課後児童クラブ）のニーズが高まり、保護者を支える施設として利用希望者は増え続けております。飯能市においても特に市街地の学童に関して増設に取り組んでいます。子育て世帯の増加率が高い加治東地区においては様々な検討が行われるも、小学校周辺は市街化調整区域であり建築に関するハードルも高く、進まない状況にありました。ここで、要件を満たし加治東小学校の敷地内に建設する運びとなりました。保護者の皆様、毎年のように要望書を提出しご意見を届けてくださりありがとうございました。そして、開設には2年ほどかかるようです。児童、支援員の皆様には今しばらくご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどお願いいたします。



## 広域飯能斎場の新施設 (広域飯能斎場組合議員として報告)



令和8年度・建築確認申請・造成工事

令和9年度・本体建築工事

令和10年度・本体建築工事

令和11年度・本体建築工事・新斎場供用開始

令和12年度・現斎場解体工事・外構工事・駐車場整備・完了

狭山市、日高市そして飯能市で運営している斎場です。老朽化や利用者数の増加を見込み、新たな施設整備計画が進んでいます。2月20日(金)には住民説明会が開催され、建設に向けての工事等が本格的に始まります。詳細は広域飯能斎場公式HPの“お知らせ”にある「広域飯能斎場組合新斎場建設工事基本設計計画概要書」よりご覧いただけます。

### 知っておきたいポイント

- 現斎場を稼働させながらの工事の為、休館することはありません / ● 1日16件を標準とし、最大20件程度の火葬を実現し長期の待ち日数の解消をはかります / ● 1炉1室の告別収骨室でプライバシーに配慮した作りとなります / ● 西川材を中心に地域産材を活用します / ● 専用のペット火葬場の予定はございませんが、民間と対応を検討していく方向です / ● 斎場等使用料については近隣他市の斎場を参考に今後検討していく予定です / ● 建設費用については、詳細はこれからですが物価上昇を見込み63億2千万円ほどとしています。

## その他、令和8年度の主な新規事業 (詳細は関田まで！)

- 民間の力を活用したふるさと納税返礼品の拡充 ▶ ふるさと納税の新規開拓を実施 / ■ 元加治駅周辺整備に向けた調査と実施 ▶ 入間市、西武鉄道(株)等の関係機関と連携し、元加治駅の軌道上施設に関する調査 / ■ データを活用した積極的な情報発信の強化 ▶ 人流データ分析ツールの活用により来場者数を把握し、効果的な情報発信を図る / ■ こども誰でも通園制度の開始 ▶ すべての子育て家庭に対し、多様な働き方やライフスタイルの実現を応援 / ■ 小学校給食費無償化 ▶ 国や県からの補助金、不足する分は国の重点支援地方交付金などを活用 / ■ 飯能消防団11分団車庫・詰所の設計、再編成 / ■ 重層的支援体制整備事業の実施 ▶ 福祉・医療の多機関・多職種連携強化等により支援体制の更なる強化を図る / ■ 公共施設予約システムのリニューアル ▶ キャッシュレス決済など時代にあったシステムに更新 / ■ 庁内システム共通基盤の再構築 ▶ 庁内システムサーバを集約し費用対効果の高いシステム運用を進める / ■ 人流データを活用した政策立案の推進 / ■ 公共施設包括管理事業の導入検討 / ■ 民間企業の専門性を活用した持続可能な管理体制の構築に向けた検討を進める / ■ 窓口開庁時間の短縮 ▶ 9:00～16:30に変更

## 商店街の新たな担い手の拠点「やまにわ」

まちなかを活性化していく為、出店希望者が一定期間安価な賃料で出店することができる拠点が誕生しました。ブックカフェや鍼灸など多様で魅力的なお店に出会えます。



(飯能市本町1-9) 令和7年度予算「商店街インキュベーション施設補助金」利用